

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年 3月 1日

事業所名 すくすくクラブ

保護者等数（児童数）3 回収数 2 割合 67%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか		2				
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2					
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	1					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2					
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2					
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2					
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2					
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2					
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2					
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2					
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2					
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2					
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	2					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2					
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2					
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2					
	23	事業所の支援に満足しているか	2					

○この「保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名 すくすくクラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動の場所と落ち着ける場所を分けている	
	2	職員の配置数は適切である	○		人員基準に基づいて職員配置を行っている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		車いすを利用したり、足が悪い方でも利用しやすいようにバリアフリー化している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		利用者が帰った後に掃除を行い、衛生面も清潔を維持している	子どもの活動に応じた環境を職員で話し合い、環境作りをしている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員間で連携を図りながら、業務改善をしている	アンケートの結果を踏まえ、保護者の意見を把握し、支援内容を検討していく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者からの意見を職員が把握し、会議を行い改善していくようにしている	会議等で検討し、業務改善に向けて対応している
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部研修を月1回行っている	コロナウイルスの関係で外部での研修が少なかった
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントを基に職員で話し合い、子どもの状態等を共有し、支援計画を作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートを使用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		子どもの様子やご家族から話を聞いて、支援計画を作成し、計画に基づいた支援を行っている	保護者からの相談があった場合、個別に対応している
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		利用者一人一人に合わせて支援を行っている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月1回の研修の中に取り込んでいる	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動の中で利用者に合わせて支援を行っている	月の前半と月の後半で活動内容を変えている
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		保護者の意見や利用者の状況に合わせて作成している		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝、職員間で話し合い役割分担や活動内容の共有を行っている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後に振り返り反省点や利用者の気付きを職員間で共有している	時間内に振り返りが出来なかった部分は翌日に話し合いを行っている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別の記録ファイルを作り、支援の改善につなげている	定期的に記録の見直しを行っている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングを行い、計画の見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者とその利用者の担当職員が参画している	左記の内容でこれからも継続していく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関と連携した支援を行っている	○		必要時に電話をしている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		送迎時に園の先生と情報共有したり、モニタリングの際に相互理解を深めるようにしている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		関係機関と情報共有し、理解を図っている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		連携を取っている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		コロナ禍の為難しい
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		機会があれば参加したい
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時にその日の様子を伝え、共通理解を図っている	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている				ペアレントトレーニングは行っていないが、相談には個別に対応している	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っている		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		常時、保護者からの相談を受け付けて丁寧に対応している	相談の内容を職員間で共有している
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ禍の為にできていないが、今後は保護者が参加できる行事を計画していきたい
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申し入れについては迅速に対応している。対応する職員が連絡を取り丁寧に対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		お便りで知らせたり行事前に手紙を出したり連絡帳で知らせている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		ファイル等は必ずロッカーに入れている	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		簡潔明瞭に必要な事のみ文章にして渡している	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍で行えなかった
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを作成し、保護者に伝え、定期的に訓練を行っている	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		防災頭巾を作り、避難訓練を定期的に行っている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメント時に行っている	臨時薬の時は必ず文面でもらうようにしている
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アセスメントの時に聞いている	アレルギー対象の子どもが今はな
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		作成し共有している	職員間で話し合い、情報を共有している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を行った	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		今後も行う予定はありません

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年 3月 1日

事業所名 すくすくクラブ

保護者等数（児童数） 3 回収数 3 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	2	1			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3				
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	3				
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1	2			
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1			
保護者 への 説明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2	1			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	1		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	1			
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	1			
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	3				

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	14	個人情報に十分注意しているか	3				
非常時等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	3				
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1			
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	3				
	18	事業所の支援に満足しているか	3				

○この「保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 1日

事業所名 すくすくクラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		利用者によりよい環境を提供できるよう配慮している	適切なスペースを確保している
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		利用者数に合わせて職員配置を行っている	指定基準に基づき配置を行っている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		入口はスロープがあり、配慮している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		目標設定の振り返りを行っている	保護者の意見を把握し、支援内容を検討している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者からの意見については会議等を行い、改善していくようにしている	会議を行い、業務改善に向けて努力している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		公開しています	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		内部研修を月に1回行っている	コロナウイルスの関係で外部での研修が少なかったが、ZOOM研修などの機会があった際は参加している。月に1回、内部研修を行っている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		アセスメントを基に職員で話し合い、利用者の状態等を共有している	個別支援計画作成の前に行っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		アセスメントシートを使用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		活動の中で利用者に合わせて支援を行っている	月に1回の会議の中で取り入れている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		季節に合わせて活動計画を立てたり、誕生日会などのプログラムを立てて固定化しないようにしている	利用者の特性に応じて対応している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		平日にできない活動は休日や長期休暇に設定して支援している	外部との交流も行うようにしている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		保護者の意見や利用者の状況に合わせて作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		毎朝、話し合いを行い、役割分担をして、職員間で共有している	朝ミーティングを行っている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		支援を振り返り、反省点や利用者の気づきを職員間で共有している	時間内に振り返りが出来なかった部分は翌日に話し合いを行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		個別の記録ファイルを作り、記入を行っている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		計画の見直し時に行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	<input type="radio"/>		生活能力の向上の為、個々の子どもの状況に応じて支援している	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者とその子どもの担当職員が参画している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時には学校の先生と情報共有をしたり、送迎時間に変更がある時には学校や保護者と連絡を取り合っており確認している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				今年度は該当者がいませんでした
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		各機関と担当者会議を通して連携している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			対象者なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		コロナ禍の為、外部での研修は出来なかったが、ZOOM研修を受けて理解を深めている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナ禍の為、交流するのは難しかった
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		今後機会があれば参加していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や、連絡帳、電話などで保護者からの悩みや質問を聞き、保護者との共通理解を深めている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			ペアレントトレーニングは行っていないが、相談には個別に対応している
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		常時保護者からの相談を受け付けて丁寧に対応している	相談内容を職員間で共有していく
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ禍の為行えていないが、今後は保護者が参加できる行事を計画していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		その都度、対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		お便り等で知らせたり、行事前に手紙を出したり、連絡ノートで知らせている	
	35	個人情報に十分注意している	○		契約時に取り扱いについて説明し、十分注意している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡帳を作っている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域の行事に参加できる機会をつくっていきたい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		感染症マニュアルを作成し、保護者に伝え、見える所に掲示を行っている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		防災頭巾を作り、定期的に避難訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に内部研修を行い、研修の機会を確保している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			今まで拘束などの事例はないが、放課後等デイサービス計画に記載している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在、アレルギー対象の子どもはいない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		作成し共有している	話し合いを行い周知していく